



山根 耕治 議員

**暮らしに必要な施設への
住民意見の反映について**

問 私どもの周防大島町もこれから更なる行政改革が必須となつてきます。それを成功させるため必要なのは行政は謙虚な姿勢で、町民の意見を反映させることです。町の説明会などでは決定したことの説明で、町民の意見が入る余地のないものが多い印象があります。

社会的共通資本である病院や学校、公民館など町民の生活に直接かかわる施設のあり方に町民の意見を集め、計画に反映させる方法についての町長の考えを伺います。

答 病院については第一期再編計画の見直しの際に町民の皆様からアンケートをとるなどし、ご意見・ニーズを掘り起こし、可能なことは反映させていきたい。小学校については統合をすすめているところですが、周防大島町では地域と密着した学校運営が行われており、保護者をはじめ地域の方々から意見や要望をお聞きし、ご理解をいただきながら学校統合をすすめていきたい。

公民館・図書館などの社会教育施設のあり方については、「周防大島町教育の基本方針」のもと、社会教育委員会などを設置し、有識者などからの意見や助言を取り入れながら運営していきます。

問 病院再編については、例えば人間ドックなどの予防医療に特化させるなど、永年の存続のためには経営のあり方を見直していく必要があると考えます。小学校については、学校統合

ありきではなく、小規模校ならでのメリットを活かした運営の方法も考えていくべきではないでしょうか。

社会教育施設については有識者だけでなく公募などで住民の意見も取り入れるべきです。

いずれも町民の意見を取り入れ、反映させることにより力を入れるべきではないでしょうか。

答 町民の意見を集約するのは大切なことです。

それぞれの町民の声を受けとめ、精査することは大切であり、実行していかねければならないと考えています。

小規模校のメリットは感じていますが、学校運営は本町の実情から最適な方法を考えていかなければなりません。学校統合については保護者の方や地域の方々から意見を聴き、慎重に実行しているところです。

社会教育委員の公募については検討したい。



沖浦小学校と山口県立美術館などを5G回線で結んだアートスクールの授業